令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
1	**事業者継続支援金** **【産業課】**	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者に対し、事業の継続を支援するため、一律10万円(複数事業所20万円)を支給する。	商業の振興	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.6.1 ～ R2.8.31	98,180	①事業の効果 【申請件数】972件 ・市内に事業所を有する法人 335件 ・市内に事業所を有する個人事業者 592件 ・市民で市外に事業所を有する個人事業者 45件 【効果】支援を行ったことにより事業の継続及び市民の雇用の場の確保の一助になったと思われる。 ②課題 ・新型コロナウイルス感染症の影響が長引いており、今後市内事業者等の事業継続に影響が出ないか懸念される。 ③今後の方向性 ・新型コロナ感染症拡大の影響から売上の減少と経費増加による収益減の声が多く、継続的な経済支援を求める声もあったことから、事業者への影響も注視しつつ、事業再編及び再構築や雇用の維持確保の観点での施策を図っていく必要がある。	**B**	・給付金の支給は、事業を継続していくうえで売上減少補填の一助となった。 ・事業継続の一助になったと思うが、減収補填の域にあると認識される。 事業の効果を知るうえで、モニター等を設け実情の把握と今後の事業の参考にしても良いのではないか。 ・コロナウイルス感染症の影響が少ない市内企業もあるため、申請率86.1%で妥当である。 ・今後の動向を注視しながら、継続的な支援が必要。
2	**飲食店コロナ対策支援金** **【産業課】**	市内飲食事業者が行うテイクアウト等の体制づくりや新型コロナウイルス感染症予防に係る費用を支援する。	商業の振興	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.6.1 ～ R3.3.31	9,143	①事業の効果 【申請件数】36件 【効果】店舗内の感染予防対策取組の促進につながった。 ②課題 ・新型コロナウイルス感染症の影響が長引いており、今後飲食店の事業継続に影響が出ないか懸念される。 ③今後の方向性 ・県の認証制度等の活用により、より一層感染防止のための環境整備に取り組んだ事業者へ経営継続を後押ししていく。	**B**	・新型コロナウイルス感染症の影響を最も受けている飲食店に対し、感染対策や事業展開するための支援をすることは非常に効果的であった。 ・感染予防対策は随所で見られるが、テイクアウトへの取組などへの対応は商工会等と連携して支援すべきである。 ・今後の動向を注視しながら、継続的な支援が必要。
3	**秋田県経営安定資金(危機関連枠)に対する利子補給事業** **【産業課】**	新型コロナウイルス感染症対応(危機関連枠)で設けられた県資金の融資を市内事業者が受ける際の利子補給を行う。	商業の振興	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.4.24 ～ R3.3.31	8,108	①事業の効果 【実績】48件事業者 【効果】中小企業者に対する事業資金の融資を円滑にし、企業の健全な経営の安定、雇用の維持が図られた。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・利子補給措置経過後も、新型コロナウイルス感染症が市内中小企業等や地域経済に与える影響を注視する必要がある。	**B**	・新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少し、資金繰りに苦慮している事業者が融資を受ける際の利子補給は、非常に効果的であった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が続いている場合、3年目以降の事業継続も検討が必要。

令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

事業No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
4	**防災活動支援事業【総務課】**	自然災害等発生時における避難所での3密の回避、衛生環境の保持のために必要な物品を備蓄する。	防災対策の強化	Ⅰ-1.マスク・消毒液等の確保	R2.6.16～R2.12.10	10,370	①事業の効果 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に必要な物品の配備により、避難所での感染リスクが軽減され、市民が緊急時に安心して利用できる環境づくりに結びついている。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・全国的にも感染が拡大している状況であることから、引き続き避難所の環境整備に努め、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施していく。使用期限や備蓄物品の状態についても随時確認し、計画的に更新していく。	B	・必要な物品の種類や数量等については日頃からチェックをはかられたい。 ・新たな感染防止対策の必要性から事業を実施したが、避難所としての適応性の有無が第一義であるので、十分な確認をすべき。
5	**情報発信強化・アクセシビリティ向上事業【企画政策課】**	CMS（市ホームページ）を更新し、アクセシビリティ向上を図り、障がい者や高齢者といった方々にも新型コロナウイルス感染症の情報について、伝わりやすくわかりやすい情報発信の強化を図る。	広報広聴活動の充実	Ⅰ-6.情報発信の充実	R2.7.8～R3.1.7	13,459	①事業の効果 ・CMS更新によって不要なページや情報が整理され、目的のページへたどり着きやすくなった。新型コロナウイルス感染症関連情報に関するページは、トップページから容易にアクセス可能となっており、ワクチン接種や関連事業など一元的に情報発信を行っている。 ・アクセシビリティチェック機能により、高齢者や障がい者に配慮したホームページ画面となっている。 ・アクセス件数は月平均約22,000件増加。 ②課題 ・感染症関連情報や市政情報の迅速な情報発信のため、市職員のCMS操作能力向上に努めていきたい。 ③今後の方向性 ・ホームページ内容の充実はもちろん、利用者の利便性向上のためオプション機能の追加なども検討し、感染症関連情報や市政情報の迅速な情報発信を継続して行う。	B	・アクセス件数が22,000件増加しているようだが、その内容も重要である。 情報の波及効果により一層努めていただきたい。 ・デジタル機器を苦手とする方もいるので、全てデジタル化とするのではなく、必要に応じてアナログ方式（紙媒体による周知や申請等）も併用するなど、デジタル機器を苦手とする方への配慮もお願いしたい。 ・ホームページ利用者以外の対象者への広報等のあり方についても検討を要するのではないか。

令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

事業No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
6	**県外大学生等応援事業** **【企画政策課】**	緊急事態宣言により外出や県境を越える移動の自粛が続く状況の中で、進学等により親元と離れて一人で暮らす学生を応援するため、ふるさと潟上の特産品を送る。	定住・移住の推進	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	R2.5.8 ～ R3.7.31	1,038	①事業の効果 ・申請人数：238人 ・学生から「勇気づけられた」「故郷の温かさを感じた」など、感謝のメッセージが数件寄せられ、コロナ禍で不安を抱えつつ帰省を自粛していた市出身の学生を応援することができた。 ・「Uターン等地元での就職に関するアンケート」により、地元（秋田県及び潟上市内）での就職希望の有無やUターン等に関する意見を聞くことができた。 ②課題 特になし。 ③今後の方向性 ・新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っておらず、学生生活が依然として困難な状況であると考えられるため、令和3年度も実施している。 ・県外に出た学生のふるさと回帰意識や定住につながっていく可能性があるので、今後、事業継続について検討する。	**B**	・外出もできず授業もオンラインで友達と会うこともできない、また、帰省することもできない状況において、地元の特産品を贈ることは、地元を思い出し勇気づけられたと思う。他市町村にはない、非常に良い事業であった。 ・コロナ禍の中で市出身の学生を勇気づけ、地元回帰志向が芽生えていることに期待感を持っている。ふるさと回帰事業とその受皿となる対策の拡充を図ってはどうか。 ・自分のふるさとを考える良い機会になった。 ・地元の特産品を贈ることにより、ふるさとを再認識してもらうことは良いことである。アンケートの就職に関する意見を、定住促進につなげてほしい。
7	**公共施設等における感染拡大防止事業** **【文化スポーツ課】** **【幼児教育課】** **【財政課】** **【健康推進課】**	公共施設等での感染拡大防止のため感染予防を徹底する。	適正な公共施設の維持管理と整備	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.5.8 ～ R3.3.31	8,784	①事業の効果 ・不特定多数の方が利用する公共施設等において感染予防対策が強化され、日常の施設内消毒の徹底などにより良好な施設環境が維持された。 ②課題 ・感染防止対策に必要な衛生品、消耗品等の予算確保。 ③今後の方向性 ・新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないため、今後も継続して感染予防対策を講ずる必要がある。	**B**	・子どもたちの感染症予防対策のみならず、保護者への施設内対応の情報提供による注意喚起を一層周知してほしい。 ・アルコール消毒液やマスク等の衛生用品（消耗品）の購入は、予算確保が必要。
8	**検診等にかかる新型コロナウイルス感染症感染予防事業（児童手当現況届郵送）** **【社会福祉課】**	児童手当の現況届の申請を従来の来庁による申請から郵送での対応に変更し、来庁による「3密」をさけ、感染への予防や感染拡大の防止を図る。	子どもを産み育てやすい環境づくり	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.6.1 ～ R2.12.28	205	①事業の効果 ・1,731件の現況届が郵送による手続きで処理でき、対面手続きによる感染リスクの低減及び受給者の利便性の向上が図られた（※全体のおよそ92%）。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・コロナ禍における密対策として、また市民の手続きの煩わしさ軽減のため継続して行うべきであり、令和3年度も実施している。	**A**	・直接窓口に出向かなくてもよく、手続きの煩わしさが軽減され、非常に効果的であった。

令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

事業No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
9	**手づくりマスク事業** **【健康推進課】**	市民及び市内団体が市内の教育施設及び福祉施設に配布することを目的に布マスクを作成した場合の、材料費その他の費用を支援する。	市民の主体的な健康づくりへの支援	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4.24 ～ R2.6.30	1,397	①事業の効果 ・感染の流行初期におけるマスクが不足している状況において、市民や団体が作成したマスクが施設へ寄贈されたことに対し、大変喜ばれ、また感染症対策へつながった。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・市場にマスクが流通したことにより、事業は終了とした。今後、新型感染症の流行に伴い市場にマスク不足がみられた場合には、市民ができる感染症対策に市が助成する等、類似の事業を検討していく。	**A**	・マスク不足により、マスクを入手することが困難な状況において、手作りマスクは非常に助かり有効であった。
10	**IT環境整備事業** **【総務課】**	情報システムのクラウド化、Web会議システムの導入、テレワーク環境整備により、人と人との接触の機会を減らし、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減する。	行政サービスの情報化・効率化	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.10.19 ～ R3.3.31	71,558	①事業の効果 ・各種システムの利用により人と人との接触の機会を減らし、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減している。 〇Web会議システムの利用実績 市主催27件、市以外主催130件 〇テレワークシステムの利用実績 534件 ②課題 ・相手方の環境や都合もあるため、システムで軽減可能なリスクが限られる。 ③今後の方向性 ・システムを効果的に利用し、引き続き感染リスクの軽減に努める。	**A**	・リモート会議が当たり前になってきているので、必要な投資であった。 ・接触機会が減り、感染リスクの軽減にもつながった。業務改善や効率化も図られた。 ・システム活用にのみ偏重することなく、対面の機会を避ける方向にならないように留意してほしい。
11	**健診予約IT化事業** **【健康推進課】**	市で実施している集団住民健診において、感染症対策のため定員を定めた申込み方式とするため、健診予約業務をWeb上での予約管理とし、予約管理情報を既存の健康管理システムとデータ連携を図り、情報管理を行う。	計画的な健康づくりの推進	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.10.12 ～ R3.3.31	1,527	①事業の効果 ・集団住民健診を定員を設けた申込み制で実施したことで、健診会場では密閉・密集・密接を避ける等の充分な感染症予防対策を講じることができ、感染への予防や感染拡大の防止を図ることができた。 ・健診予約をWeb上で管理できる体制を構築することができた。また、Web上の予約情報と既存の健康管理システムのデータが連動できたことで事務の効率化が図られた。 ②課題 ・申込方法としてWeb利用者が少ない（3.2%）。 ③今後の方向性 ・集団住民健診を実施するにあたり、充分な感染症対策を講じることと健診受診体制の利便性を提供するために継続する。 ・健診予約IT化によりWeb上で健診予約ができることを市民へ周知し、Web利用者の増加に努める。	**B**	・現状の利用は3.2%と少ないが今後確実に増加していくものと考えられる。 ・年齢を問わず誰でも簡単にWeb予約できるよう、広報等で予約方法について詳細に紹介し、市民へ更なる周知をしていただきたい。 ・情報発信が足りなかったので、周知と利用拡大の促進を図ってほしい。

令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

事業No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
12	**公共的空間感染防止対策事業** **【選挙管理委員会】** **【税務課】**	選挙投開票時及び申告相談受付時に、事務従事者及び来場者の感染を防止するため、感染予防を徹底する。	適正な公共施設の維持管理と整備	Ⅰ-1. マスク･消毒液等の確保	R2.9.29 ～ R3.3.17	3,898	①事業の効果 ･各種感染予防策を講じたことにより、感染症の発生を予防することができた。 ②課題 ･申告相談受付時に、非接触体温計による検温実施のために職員1人の追加配置が必要となった。サーマルカメラであれば人員不要で対応できたのではと考える。 ③今後の方向性 ･新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがたたないため、インフルエンザ等も含めた感染症対策を継続して実施する。	A	部局評価をもって妥当とする。
13	**公共施設環境改善事業** **【市民センター】** **【社会福祉課】** **【文化スポーツ課】**	公共施設の空調及び換気設備を強化し、市民等が安心して利用できる場を提供する。	適正な公共施設の維持管理と整備	Ⅰ-1. マスク･消毒液等の確保	R2.10.21 ～ R3.3.31	94,432	①事業の効果 ･大人数を収容できるホールの空調及び換気設備の機能を強化することにより、利用時の感染拡大リスクの低減が図られ、来庁者が快適な環境で安心して施設を利用できるようになった。 ②課題 ･特になし。 ③今後の方向性 ･空調及び換気設備を効果的に利用し、今後も施設内の感染予防対策に努める。 ･施設維持の観点から、定期的な保守管理は必要。 ･こまめな換気をはじめとする感染症対策の徹底や、施設利用者に対する「新しい生活様式」に配慮した利用の呼びかけ等についても継続して取り組んでいく。	A	部局評価をもって妥当とする。

令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

事業No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
14	**集会施設環境整備事業** **【財政課】** **【市民センター】**	集会施設の空調設備を強化し、市民等が安心して利用できる場を提供する。	適正な公共施設の維持管理と整備	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10.21 ～ R3.3.12	32,835	①事業の効果 ・対象施設数：38施設 ※集会施設…12施設 ※分館・児童館…26施設 ・冷暖房設備設置及びロスナイの整備によって感染予防が強化された。 ・利用者が安心して使用できる環境を提供することができ、市民の地域活動及び交流の場の確保につながった ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・今後は設備の故障や経年劣化による更新に対し、随時対応していく。 ・施設内感染を防ぐため、利用者に対する定期的な換気や3密を避けた利用方法等について継続的に注意喚起を行っていく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により地域活動が制限されているため、設置機器の適切な使用方法の周知に努めながら、「新しい生活様式」に基づいた地域活動を支援する。	A	・環境整備を図ったことで、感染症の拡大防止及びコロナ禍における市民の地域活動や文化活動の継続を支援することができたのではないか。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しつつ、施設へのマスクや消毒液等の購入・設置について検討をする必要があるのではないか。 ・総合管理計画個別施設計画において将来的な廃止・解体を予定している施設であっても、その時期が未定であるため設置の対象としていることは理解できる。総合管理計画個別施設計画に関しては、所管課のみでなく市全体で施設の整理統合について精査してほしい。
15	**公共施設等の管理維持体制持続化事業** **【産業課】**	天王ふれあい交流センターの浴場の空調及び衛生設備を改修し、換気能力及び衛生水準を高めることで、日頃から当施設を利用している市民等がより安全に利用できる環境を確保する。	適正な公共施設の維持管理と整備	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10.21 ～ R3.3.24	5,516	①事業の効果 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、温泉施設の機械設備等を改修したことにより、利用者への安全安心を確保することができた。また、入館者も安定して推移しており、施設利用の持続化が図られた。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・利用者や従業員へのマスク着用や手指消毒等の呼びかけ、施設内の定期的な換気や消毒によって感染リスクの低減を図る。	A	・来館者の多い施設であるため、感染症対応が必要であった。
16	**学校施設環境改善事業** **【学校教育課】**	学校の衛生環境を改善し、児童生徒の感染症予防を図る。	教育環境の整備・充実	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.9.29 ～ R3.3.31	27,026	①事業の効果 ・トイレ洋式化と手洗い場改修、給食室換気設備改修によって、校内の新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減することができた。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・市立小・中学校のトイレ手洗い場水栓を自動水栓に変更し、給食室のドライ化を進めて、衛生環境の改善を図る。	B	部局評価をもって妥当とする。

令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

事業No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
17	**学校からの遠隔学習機能の強化事業【学校教育課】**	遠隔学習を行うための設備を市内小・中学校全9校へ整備する。	教育環境の整備・充実	Ⅳ-3.リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R3.1.12～R3.2.22	1,080	①事業の効果 ・遠隔学習に必要な機器を整備したことにより、臨時休業期間中も切れ目ない学習を行える環境を整えた。 ②課題 ・教職員の遠隔学習のスキル向上、児童生徒の家庭のネットワーク環境の調査。 ③今後の方向性 ・教職員のスキル向上のため、遠隔学習のルールづくり及び研修を行う。 ・学校の臨時休業等に備え、児童生徒の家庭のネットワーク環境の調査を行う。	B	部局評価をもって妥当とする。
18	**GIGAスクールサポーター配置支援事業【学校教育課】**	GIGAスクール構想の実現を図るため、ICT環境設備の設計や仕様マニュアル等の作成などを行うICT技術員を学校へ配置する。	教育環境の整備・充実	Ⅳ-3.リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.10.9～R3.3.30	4,915	①事業の効果 ・「1人1台端末」や電子黒板、遠隔学習用機器の使用マニュアルを作成できた。また、問い合わせ窓口を設けたことで、ICT機器の初期導入に係る学校からの問い合わせに対応することができた。 ②課題 ・学校における情報担当職員（ICT支援員）の育成、オンラインによる家庭学習の実施及びルールづくり。 ③今後の方向性 ・「GIGAスクール構想」に係る学校の人的体制が不十分なため、今年度もGIGAスクールサポーター業務を委託し、学校における情報担当職員（ICT支援員）の育成、オンラインによる家庭学習の実施及びルールづくりの支援等を行う。	B	部局評価をもって妥当とする。
19	**学校ICT環境整備事業【学校教育課】**	児童生徒用1人1台タブレット端末など、公立小中学校のICT環境を整備する。	教育環境の整備・充実	Ⅳ-3.リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	R2.10.1～R3.3.31	147,228	①事業の効果 ・GIGAスクール構想の実現に必要な機器を導入したことによって、全ての児童生徒の学びを保障する環境の整備を進めることができた。 ・理科の授業で台風や実験の動画を1人1台端末で見たり、家庭科の授業で手縫いの仕方を実物投影機で拡大して見せたり、生活科の授業でアサガオの観察写真を電子黒板に拡大して見せたりして、ICT機器を利用して、児童生徒の理解を深めることができた。 ②課題 ・教職員のICTスキル向上、児童生徒数に応じた機器の移動や維持管理等に係るコスト。 ③今後の方向性 ・教育委員会及び教職員が利用するICT機器を現環境に適した機器に更新することによって、GIGAスクール構想の実現に努める。	B	・インターネット環境が整っていない家庭もあるかと思う。児童生徒の環境の違いによって、学習機会の差などが生じることのないよう慎重に進めていただきたい。

令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

事業No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
20	**学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業【学校教育課】**	感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びの保障をするための取組を行う。	学校保健の充実	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4.1 ～ R3.3.31	10,248	①事業の効果 ・学校における感染症対策を徹底するために必要な物品を購入することで、児童生徒の学びの保障をする体制の整備を促進することができた。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・児童生徒の学びの保障をする体制の整備のため必要な物品を購入し、学校における感染症対策を徹底する。	B	部局評価をもって妥当とする。
21	**感染症対策のためのマスク等購入支援事業【学校教育課】**	学校再開等に当たり集団感染のリスクを避けるため必要とする保健衛生等を整備する。	学校保健の充実	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4.1 ～ R3.3.31	1,028	①事業の効果 ・学校における感染症対策に必要な保健衛生用品等を購入することで、児童生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進することができた。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・児童生徒が安心して学ぶことができる体制の整備のため必要な保健衛生用品等を購入し、学校における感染症対策を徹底する。	B	部局評価をもって妥当とする。
22	**新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金造成事業【産業課】**	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた企業に対する利子補給を継続的に行うための基金を造成する。	商業の振興	Ⅱ-2. 資金繰り対策	R2.9.29 ～ R3.3.31	13,548	①事業の効果 ・令和2年度に基金を積み立て、令和3年度及び令和4年度に企業に対する利子補給を行うことで事業経営の安定化を図ることができた。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・利子補給措置経過後も、新型コロナウイルス感染症が市内中小企業等や地域経済に与える影響を注視する必要がある。	A	・新型コロナウイルス感染症による影響は先行不透明感が強く、基金を造成することは効果的であった。 ・影響を受けた企業の事業継続の支援に役立った。 ・利子補給措置経過後も影響を注視していく必要がある。

令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

事業No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
23	**インフルエンザ予防接種費用助成事業** **【健康推進課】**	季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備え、同時感染による重症化などの市民の不安感を軽減するため、季節性インフルエンザ予防接種を受けやすい体制を整える。	市民の主体的な健康づくりへの支援	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.10.1 ～ R3.2.28	37,639	①事業の効果 ・新型コロナウイルス感染症対策としてマスクや手指消毒、3密回避とともに、インフルエンザ予防接種の接種者が増えたこともあり、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防ぐことができた。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・市民に対し、日頃からの感染症対策の励行と合わせ、季節性インフルエンザ予防接種の接種勧奨を行っていく。	A	・接種者の増加にもつながり、感染予防・流行の防止が図られた。
24	**乳幼児健康診査個別実施支援事業** **【健康推進課】**	従来公共施設で行っていた乳幼児の集団健診について、医師会へ事業を委託し医療機関において予約制で個別に健診を行うことで、健診時の新型コロナウイルス感染症への感染や感染拡大を防止する。	乳幼児の健康管理体制の充実	Ⅰ-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.5.8 ～ R3.3.31	6,129	①事業の効果 ・健診会場の3密を避け、保護者及び乳幼児が安心して個別健診を受けることができた。 ②課題 ・1歳半児健診や3歳半児健診は、内科と歯科の2つの科で健診を受ける必要があるため、健診受診にかかる日数が2日以上かかる場合があり、受診の機会を逃しやすい。 ③今後の方向性 ・感染症の拡大防止のため、一部の健診（1歳半児健診）を除き、引き続き、医療機関での個別健診を実施する。また、未受診者に対しては、受診勧奨を行うなど未受診者対策を行う。	B	部局評価をもって妥当とする。
25	**安全で安心にスポーツができる体育館・武道場の施設整備** **【文化スポーツ課】**	天王総合体育館の空調及び換気設備を強化し、市民等が安心して利用できる場を提供する。	生涯スポーツの振興	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.12.28 ～ R3.5.31	41,202	①事業の効果 ・空調設備の更新により換気機能が20%向上し、施設利用者が安心して施設を利用出来る場を提供することができた。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・定期的な保守点検及び適正な機器運転により、安定的な館内の換気を行っていく。	B	部局評価をもって妥当とする。

令和3年度潟上市行政評価に係る最終評価

《評価項目》
A. 効果があった　　C. 事業の必要性はあるが、改善点や課題がみられた
B. 概ね効果があった　　D. あまり効果が得られなかった

事業No.	事業名	事業概要	総合計画上の位置づけ	経済対策との関係	実施期間	総事業費（千円）	実績と効果及び課題	最終評価	外部評価意見等
26	**感染症緊急対策事業【財政課】**	感染症流行初期において、緊急経済対策室を感染症対策の相談窓口として新設し、また既存の日常的に市民との対面を行う場となる庁舎等窓口の環境を整備し、市民の相談窓口を確保する。	適正な公共施設の維持管理と整備	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4.17 ～ R2.6.25	1,292	①事業の効果 ・丈夫なアクリル板を設置したことにより、継続的に飛沫感染防止対策を実施できている。 ・IP電話機の増設により、相談業務等を円滑に実施できた。また、ワクチン接種が市町村で実施されることになったタイミングで、ワクチン接種推進室用の電話として再構築し、新型コロナウイルス感染症対応として有効的に活用できている。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・新型コロナウイルス感染症対応については、仮に感染拡大が終息した場合でも、引き続き対応が必要になると思われるため、今回の事業で整備された環境については、今後も有効活用の継続が期待できる。	B	部局評価をもって妥当とする。
27	**感染症対策等の学校教育活動継続支援事業【学校教育課】**	教育活動を継続するため、感染症対策等を徹底しながら児童生徒の学習保障をするための取組等を行う。	学校保健の充実	Ⅰ-1. マスク・消毒液等の確保	R2.12.15 ～ R3.3.31	8,059	①事業の効果 ・新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を購入し、学校における感染リスクを最小限にしながら教育活動を継続して、児童生徒の学びの保障をする体制の整備を促進することができた。 ②課題 ・特になし。 ③今後の方向性 ・学校における感染リスクを最小限にしながら教育活動を継続するため必要な物品を購入し、学校における感染症対策を徹底する。	A	部局評価をもって妥当とする。